

2021年 東北大学前期日程試験【国語】問題分析

1 今年（2021）の傾向

総評

今年から試験時間が120分から150分へと30分延びたことによる、問題の形式や難度への影響はない。受験生はこれまで以上にじっくりと解答作成に取り組めたことだろう。そのぶん受験生間の点差がより付きやすくなった。過去問演習の重要性が一層増したと言えるだろう。

現代文

評論・小説とも設問の誘導がかなり親切で、解答に用いる材料を本文から探すのは易しかっただろう。問題が設問ごとに有機的な結びつきを持っていることを知った上で、そのことを理解していると採点者にアピールする答案を作る必要がある。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	60%	法学部	65%
教育学部	60%	経済学部	60%

来年受験する生徒へのアドバイス

本文の内容を簡潔に自分の言葉で言い換える訓練をたくさん積んで欲しい。

古文

出典は浅井了以『かなめいし』。長年放置し荒れ放題になっていた豊国神社であるが、先頃の地震で被害を出さなかったことにあやかって参詣に殺到する人々に対する、筆者の嘆きが記されている。昨年よりもやや易、標準的な難度の良問であった。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	60%	法学部	65%
教育学部	60%	経済学部	60%

来年受験する生徒へのアドバイス

基礎的な単語や文法の知識を身につけた上で、多くの文章を読んでほしい。

漢文

出典は潘士藻『閻然堂類纂』。羅念庵の祖先である慶同の善行が描かれている。標準的な難度。難しい句法の知識は問われておらず、話の流れを踏まえて意味を推測する力も問われている。字数制限もそれほど厳しくなく、演習量が得点に直結する問題であった。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	60%	法学部	65%
教育学部	60%	経済学部	60%

来年受験する生徒へのアドバイス

基礎的な句法の知識は必須。あとはジャンルを問わず多くの文章を読んでほしい。